

○ 労働者家庭
生活技術指導状況報告

昭和39年(38年10~39年9月)

○ 京都婦人少年室

労働省婦人少年局

は し が き

労働者家庭の主婦を対象とする生活技術指導は、後にかかげる実施要領によつて、各婦人少年室において昭和33年から実施している。開始以来、モデル地区として生活技術指導の対象となった事業場は、指導を終了したもの及び、現在も指導を継続しているものを合わせて187事業場である。

指導内容は、家計指導と衣食住に関することから、保健衛生、子どもの教育、人間関係など広範にわたっているが、対象家族、生活条件、生活環境等の実情を勘案して、それぞれのモデル地区に必要なものを選び、理論と実地指導を行なっている。

特に、昭和37年10月からは、勤労者家庭消費生活向上運動（5年間）の実践地区として、運動のテーマに即した指導を行なうこととし、39年（昭和38年10月～39年9月）は、2年度のテーマ「子どもの教育の充実のために消費生活をよくのえる」に沿った指導を行なった。

指導は、特に、そのために置かれている婦人少年室専任協助員が、室長の指示のもとで行なっているが、必要に応じて各分野の専門家、有識者等を要請し、専任協助員の行なう指導に加えて協力を得ている。

なお、指導計画を終了し「家政研究グループ」に移行した地区に対しては、側面的に助言指導を行なっている。

昭和40年6月

労働省婦人少年局

モデル地区における労働者家庭生活 向上のための技術指導計画実施要領

1 趣 旨

労働者が十分な生産活動を行なうためには、労働者自身の福祉とともに、家庭生活の向上が求められるので、そのための施策の一助として、社宅等労働者住宅の密集地域における労働者家庭に対し、生活向上のために必要な技術について集団的、継続的に指導援助を行なうものとする。

2 実施対策

労働者住宅密集地域の中から選定したモデル地区における労働者家庭の主婦とする。

3 実施方法

労働省婦人少年局は、労働者家族の生活技術指導を担当する協助力員を選任し、婦人少年室を通じて下の方法によって指導を行なうものとする。

(1) 懇談会の開催

(2)

婦人少年室は、専任協助力員とともにこの問題についての関心を高めるため、労働者家族および関係事業所、労働組合等とモデル地区において懇談会を随時開催するものとする。

(2) 専任協助力員による技術指導

専任協助力員は、モデル地区に出張し、直接、労働者家族に接して集団指導を行なうものとする。

(3) 連絡員

婦人少年室は、モデル地区に居住する労働者家族の中から、特にこの問題について熱意をもつ有能な主婦を当該地区における連絡員としておくよう勧奨する。

4 指導方法

家計、保健、衛生、家事作業、教養、娯楽、人間関係等、家庭生活に含まれる諸項目に関し、向上のために必要な知識の普及および技術の指導ならびに協同活動の育成指導を行なうものとする。

5 実施開始の時期

昭和33年労働者家族福祉運動期間中に懇談会を開催し、爾後、継続的に技術指導を行なうものとする。

(3)

生活技術指導のため

都道府県別	事業場名	従業員数	対象世帯について		集会所の有無	モデル地区平均
			世帯数	平均家族数		
北海道	サッポロビール(株)札幌工場	434	150	45	有	31047
	住友石炭鉱業(株)歌志内鉱業所	628	1379	5	有	31892
青森	日本高周波銅業(株)八戸工場	273	102	3	有	滝地区35300 柳井42500
岩手	小岩井農牧(株)小岩井農場	204	63	4	無	20700
	足立ベニヤ(株)刈屋工場	458	39	34	有	32000
宮城	大成建設(株)大仙台支店	450	24	25	有	40000
秋田	(選定中)					
山形	東支電機(株)小国製造所	1500	423	42	有	31160
福島	(選定中)					
茨城	日立電線(株)日立電線工場	3885	136	37	有	28000

のモデル地区一覧表

(昭和39年9月現在)

労働者の月収賃金		主婦会・家族会		室からの所要時間	備 考
最 高	最 低	有 無	加入状況		
98200	22890	無	—	20	399終了
		有	1035	180	397~406実施
60000 92700	20000 28000	無	—	190	3811~3910
34500	10900	有	—	20	3710~3912
65000	21000	有	—	180	393終了
150000	14800	有	—	20	399終了
89740	18260	有	全員	180	394~413実施
45000	15000	無	—	70	399終了

都道府 県名	事業場名	従業員 数	対象世帯について		集会所 の有無	モデル地区 平均
			世帯数	平均 家族数		
栃木	(選定中)					
群馬	(選定中)					
埼玉	秩父セメント(株)	1618	85	32	有	35789
千葉	東洋高圧工業(株) 千葉工業所	579	406	48	有	34000
東京	(選定中)					
神奈川	東洋高圧工業(株) 大船工業所	581	23	39	無	36436
新潟	東北電力(株) 新潟支店	424	21	4	有	37000
富山	北陸電力(株) 富山支店	2805	127	38	有	33328
石川	(選定中)					
福井	敦賀セメント(株) 敦賀工場	473	35	3	有	40033

労働者の月収賃金		主婦会・家族会		里からの 所要時間 (分)	備 考
最 高	最 低	有 無	参加 状況		
87100	9126	有	全員	130	391~3912実施
46000	20000	無	—	60	391終了
42547	28590	無	—	30	398終了
63500	20000	有	—	20	396終了
67500	24000	有	—	25	399終了
53068	26975	無	—	95	391~3912実施

都道府 県別	事業場名	従業員 数	対象世帯について		集会所 の有無	モデル地区 平均
			世帯主	平均 家族数		
山梨	東京電力(株) 山梨支店	1530	38	3.5	有	33000
長野	(選定中)					
岐阜	(選定中)					
静岡	鐘ヶ沢紡績(株) 静岡工場	348	72	4	有	37500
愛知	中部電力(株)	18776	200	4	無	35000
三重	横浜護謨製造(株) 三重工場	1150	47	3.5	有	45000
滋賀	中央合繊紡績(株) 大津工場	289	16	3.6	有	36135
京都	新三菱重工業(株) 京都製作所	4050	141	3.5	有	33000
大阪	茨木市 中條地区		80	4	有	35000
兵庫	石川島播磨 重工業(株)	655	下 郷 地区 205	4.6	有	30098
	相生工場		上 郷 地区 284	4.3	有	

労働者の月収賃金		主婦会・家族会		室からの 所要時 間	備 考
最 高	最 低	有無	加入 状況		
88200	15000	無	—	(分) 30	38/0~39/2実施
70000	23500	無	—	45	38/0~39/2実施
100000	30000	有	—	50	38/2~39/11実施
90000	35000	有	—	60	39.9終了
74000	21228	有	—	25	39.4終了
77000	24000	有	—	40	38/0~40/9実施
60000	20000	有	—	50	38/0~40/9実施
89548	15680	有		170	39.9終了
				180	

都道府 県名	事業場名	従業員 数	対象世帯について		集会所 の有無	モデル地区 平均
			世帯数	平均 人数		
奈良	(選定中)					
和歌山	(選定中)					
鳥取	日本パルプ工業(株) 米子工場	813	104	4	有	35,000
島根	日本金属工業(株) 安来工場	2,100	83	4	有	35,500
岡山	日本鋁業(株) 水島製油所	259	112	2	有	25,000
広島	(株)日本製鋼所 広島製作所	1,739	234	42	有	35,000
山口	東洋鋼板(株) 下松工場	1,843	45	4	有	50,600
徳島	四国電力(株) 徳島支店	400	65	35	無	30,000
香川	(株)榎田鉄工所	535	20	35	有	23,328
	四国電力(株) 高松支店	6,475	35	33	有	33,500
愛媛	四国電力(株) 愛媛支店	1,617	46	42	有	35,009

労働者の月収賃金		主婦会・家族会		室からの 要問 所時	備考
最 高	最 低	有無	加入 状況		
				(例)	
100,000	25,000	無	-	170	384~403実施
60,000	23,500	有	-	45	391~409実施
45,000	15,000	有	-	90	39.8終了
100,000	8,000	有	234	30	375~407実施
87,600	23,500	有	全員	110	3810~3712実施
60,000	23,000	無	-	20	39.9終了
33,966	15,489	有	-		3812終了
63,000	24,000	有	-	20	395~404実施
		有	-	15	3810終了

都道府 県名	事業場名	従業員 員数	対象世帯について		集会所 の有無	モデル地区 平均
			世帯数	家族 均数		
高知	(選定中)					
福岡	電気化学工業(株) 大牟田工場	1140	520	4	有	31303
佐賀	(選定中)					
長崎	九州電力(株) 大村発電所	192	42	4		40300
	三菱重工業(株) 長崎造船所	1500	200	4.5		30000
熊本	十条製紙(株) 坂本工場	584	51	4.9	有	48000
大分	富士紡績(株) 大分工場	823	134	5		33759
	九州電力(株) 篠原電力所	92	37	4	無	32000
宮崎	(選定中)					
鹿児島	(選定中)					

労働者の月収賃金		主婦会・家族会		室からの 所要時間 (分)	備 考
最 高	最 低	有無	加入 状況		
60645	10327	有	485	70	39.7終了
25700	32800	無	—	110	39.4終了
65000	25000	有	200	43	39.5～40.3実施
			全員		39.6終了
43533	23012	無	—	30	39.3終了
103000	22000	有	37	50	39.6～40.5実施

労働者家庭生活技術指導状況

(昭和38年10月～39年9月)

1 対象地区 37カ所

2 対象主婦数 5828人

3 指導方法

講義、実習、討議、見学、資料の配布、回覧等

4 指導者(婦人少年室関係者を除く)

教師(大学教授、助教授、小中学校長等)

教育委員会関係者(社会教育主事、社会教育研修所長等)

県職員(生活改良普及員、専門技術員、内職公共職業指導所長、児童相談所長、公民館長)

裁判所判事、調査員

警察署職員

労働基準局職員

医療関係者(保健所長、開業医、専門医等)

貯蓄推進委員会関係者

マスコミ関係者(放送局、新聞社等の論説委員等)

婦人団体関係者(友の会リーダー等)

事業場関係者

その他(生涯教師、料理教師、栄養士、美容師等)

5 指導回数

1カ月/回 4時間(平均)

6 主な指導項目

(1) 子どもの教育の充実に関するもの

勤労者家庭の消費生活における教育費についての

考え方

勤労者家庭と子どもの将来

勤労者家庭の子どもの進路と就職問題

家庭教育と学校教育

子どもの教育と家庭環境の関連

児童心理について（小中学生反抗期の児童など）

「現代っ子」について

少年期、思春期における青少年心理と扱い方

子どもの教育とマスコミの影響

「健っ子」の問題について

子どもの生活設計と指導方法

休日・休暇の生活と指導

子どもに関係ある施設、官公庁、団体の紹介

(2) 家庭経済に関するもの

教育費に重点をおいた予算の立て方

家計の中の教育費の現状

合理的な消費生活

予算生活の意義と必要性

予算の立て方

家計簿の記入方法

家計一年の反省と検討

物価の値上がりと家計への影響、その対策について

貯蓄について

(3) 食生活に関するもの

○ 栄養について

栄養の基礎知識

一日の栄養の必要量とその配分（年齢別・男女別）

カロリーと栄養価

脳の働きと栄養（とくに受験期の子どもと栄養、
成長期における栄養、幼児期における栄養）

間食と栄養

弁当と栄養

健康と栄養

家庭経済と栄養

夏期における栄養

母体保護と栄養

○ 食品及び献立について

缶詰、保存食について

インスタント食品について

食品の知識と利用の仕方

漬けものの初用と漬け方

献立のたて方

弁当の献立（年令、労働に応じた献立）

○ 実 習

行事の料理（正月料理、節句料理、クリスマス料理、パーティ、誕生日、運動会などの料理）

季節の家庭料理

中華料理のコツ

日本料理のポイント

鍋料理いろいろ

すしのいろいろ

サラダのいろいろ

野外料理

受験期の子供の栄養料理

子どものおやつ

和洋菓子の作り方とコツ

飲みものいろいろ

その他、そうざい料理、保存食など

○ その他

食物に関する衛生について

テーブルマナーについて

楽しい食事の雰囲気づくり

食生活と美容の関係

(4) 衣生活に関するもの

衣服の手入れと保存について

季節別衣類一覧表の作成と整理のしかた

生活機能に施した衣生活の設計

季節に応じた衣生活

各種繊維の知識と洗剤上の注意及び洗剤

衣生活の工夫（古着の更生法、少ない布地を使

って 早めい和裁）

衣料品の選ぶ方買い方

家計の中の被服費について

履具について

○ 実 習

クリーニングのいろいろ

各種繊維の洗剤とアイロンのかけ方

各種 編物

手芸いろいろ（刺しゅう、レースおみ、人形

製作、染物）

(5) 住生活に関するもの

家を新築する場合の留意点

住居の清潔について

部屋の装飾について

電気の知識と電気機器具の持ち方及び扱い方

暖房器具

火災について

その他

(6) 保健衛生に関するもの

薬の知識と正しい使い方

常備医薬品、機器具について

病気の予防と手当の知識

四季の保健衛生、災害について

子どもと病気、けが、救急法

子どもの性教育について

身体保護と主婦の保健衛生

健康と環境衛生の関連

家族計画指導

成人病について

ガンについて

健康相談

(7) 家庭生活及び人間関係について

勤労者家庭の主婦の役割

家庭の意義について

産業社会における家庭の役割

主人の留守中の主婦の生活について

親子関係について

交際について（隣人、地域社会など）

家庭におけるレクリエーションの必要性和その方法

主婦の余暇のつくり方、利用の仕方

一生の生活設計

家庭における安全教育

(8) 婦人週刊に属するもの

婦人週刊の趣旨と意義

テーマの解説とテーマに沿った懇談

婦人の地位について懇談

(9) その他

社会における婦人の役割について

婦人のための法律知識

生活の合理化について

安全運動にあたって

マスコットについて

内職についての考え方

生 花

礼儀作法について

ラジオ体操指導

映画鑑賞

主婦のための消費生活セミナー

勤労者家庭消費生活向上運動実績発表会

(10) 社会見学

工 場

市 内

議 会

児童相談所

7 家政研究グループ人の移行

ノカ年の指導を終えたモデル地区では、その後、自主的に研究実施をすすめる体制を持つよう指導しており、家政研究グループと呼んでいる。39年9月からは、新たに5モデル地区（茨城、富山、静岡、兵庫、鳥取）の主婦が家政研究グループに移行し、全国で37カ所となった。

これらのグループは、勤労者家庭生活の問題について、婦人少年室の指導に続いて、自主的に問題の研究、実習、懇談、見学等を行なっているが、婦人少年室は、必要に応じて、企画・指導面で援助を与えている。